

古正を法 とそス気せい多方  
 事確描律現いのに質もていの他  
 記無く論メう奔自をんおよ影誌  
 や比元やン違放由もーりう響に  
 易の教進バっさにつへまでのほ  
 学日師化した故描てたせすもシ  
 に本。論の悩にく、だんがとン  
 造語さに横み、、そし。、にボ  
 詣をる挑顔も新とれ、言海運ル  
 の操大みの抱たいぞ福う第營的  
 深る藩つ一えなうれ岡な二がな  
 い元のつ部て入スが以ら期な先  
 詩司歴、をい会タそ外ばにさ人  
 人書史た紹ま者イれの、はれが  
 。。をお介すがルぞ同、主てお  
 外日纏やし。得でれ人福宰いら  
 出本めかまらすのも岡者るれ  
 も書上なすれの力多のす場、  
 ま紀げ小と難でンいのら合そ  
 まや、説、い、バ、ぼ置がの

十内をす一号を十 十ンり も十る 受る精詩  
 四容目一発、立人し年バ行そ忘人ほ海けこ力や海  
 号を指と表をて足かのくのれ近どとてとの評は  
 公すいす発、らし六が者激ていのいいのに論、  
 ま開ーうる行平ず、十櫛がし闘同、えま出活や二  
 ですと目一し成が海七の続さわ人壮ばす来動小十  
 をるい標「到し十発遠をが、にた侃な「酒福、の年  
 発もうを達した一表浅も抜往去も々合と岡当部前  
 行の方掲す。年のにつけ事りの諤評喧市地門の  
 しと針げる海に場棲てるのゆで々会嘩文で昭  
 てしの、一創をん終よ修くすの、一、学は、和  
 い、もさ、生二期号めいとに場、論常とを応岡十  
 ま現とら涯現は、てたし去を高をと周、し辺十市地年  
 。七H一開役「表現する、通第同まり演齡、日、に人民をに  
 号P開「表現する、通第同まり演齡、日、に人民をに  
 へもか「表現する、通第同まり演齡、日、に人民をに  
 通作れ山する、通第同まり演齡、日、に人民をに  
 卷成たを、通第同まり演齡、日、に人民をに  
 七し誌移、通第同まり演齡、日、に人民をに

人浅わ諸  
 とのが環同  
 集浜海境人  
 ま辺第が誌  
 つに二整に  
 て、期えは  
 き行のら、  
 たくよれそ  
 と場うたの  
 こ所にと地  
 ろをいこ域  
 も失つろの  
 あったもし  
 りたんあん  
 ま残干りボ  
 し党上マル  
 よががしの  
 う一つよよ  
 。人たうう  
 二遠しに

一  
 織  
 毛  
 を  
 伸  
 ば  
 し  
 、  
 光  
 の  
 子  
 を  
 掬  
 い  
 取  
 る  
 一  
 森  
 信  
 二

すなをののなる明　る品伝こな人に家　がもて向版  
 。し掬よ子いな日こ　をでとい誌あも広大結のはで社確  
 得いう　、らはこと年言をのでり素く手論はおいのか  
 な上にを<sup>あ</sup>ばあでいにえ　、であま晴読出にいりい方に  
 いげ伸生<sup>る</sup>、る、う二ば今すれすらま版ないまの針文  
 のるびみ<sup>い</sup>大のここ作、同か、。しれ社る　すが壇  
 でこる、<sup>は</sup>手かのと以海人ら作しいるののとがろいの  
 はと触育<sup>掬</sup>出！稿を上第誌、品かも　方でし、うか内  
 なを手む<sup>い</sup>版　の抛は二で私をし「ははか　かに外  
 い行をこ<sup>取</sup>社とテり必期行た世、と　、な言方、もを  
 かつ持と<sup>ろ</sup>が　所ずだつちに大さ　　いいでと頑眺  
 福、てちが<sup>う</sup>掬うマに世かては問手れ　出かよこ傍なめ  
 岡とい、出<sup>と</sup>いこでしにらい、う出る　版、うの観でる  
 県強る広来<sup>さ</sup>取とあて問こる自こ版　　すとが世さ、と  
 太く同くる<sup>え</sup>るをるいうそのらと社とり　　るもな界せこき  
 宰思人柔の<sup>し</sup>こさ　まこ、でがにでい　　考いはての、  
 府う誌軟は<sup>な</sup>とら同すと個す出変あう　　えと、いよ大  
 市もにに、<sup>い</sup>のに人。が々。来われ輪　　売まい　たう手  
 のし作織　、出考誌　出の海得り、の　　るすういだなの  
 でか品毛光来えに　来作のるは同中作　　。のいい方出

つ人言の在　とが　気持題間が嘆　らるを優な  
 てでう出に海にいし合のにに年く我如者置しら  
 くもべ来は第なるかい持つ言齡　が何なくいな  
 れ、きるみ二りのしをちいわ不　海にど詩眼い  
 ん二でエ出期かか、見方てれ詳今第、と差ほ  
 こ人しネるにね、でせ次はてのを二と　小しど  
 とでよルほ欠まとはて第、い壮嘆期い遠説をの  
 をもうギどけせ追、いで当る年くにう大で絶ハ  
 、我か　のてん求本まい人よ期　あ夢な、ヤン  
 心が。を、い。さ当すかのうにとつをテ人さデ  
 か海そ秘新る　れの。よ心な当いて与　類なを  
 ら第のめしも　れ若　う掛　たうはえマのい身  
 願二よたいの　ば々　にけ老る作、て　行詩体  
 つ期う若作は、し　もや人か風何くを方人に  
 てのな者品、　返い　な、誌のは故れ掲を。持  
 お一人のを　答筆　るあ　よ少かまげ探宙ち  
 り員材存書大　にを　るとうな　す、ろ空な  
 まにが在くき　困操　といいでく老。こうにが  
 す加、　こく　るる　いはう、い　れと視ら  
 。わ一とと自　こ者　う気間巷皆を　かす点、